

南三陸高等学校

校訓 真・和・敬



1 基本データ

創立：大正13年(創立102年目)
課程・学科：全日制課程・普通科、情報ビジネス科
生徒数：132名
所在地：〒986-0775
宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館9番2
TEL：0226-46-3643
FAX：0226-46-3648

ホームページアドレス：
<https://msanriku-hs.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
msanriku-hs @ od.myswan.ed.jp @の前後にスペース有
主な交通機関：
JR 気仙沼線 BRT・志津川中央団地駅から徒歩約20分
志津川駅から徒歩約15分。
JR 気仙沼線 BRT・志津川駅から南三陸町乗合バスに乗り(3分)

2 学校の特徴

校 是

志高 志を高く

令和5年4月の校名変更に伴い、在校生及び卒業生から「長年親しまれてきた『志高』という名称を残してほしい」という声が多く寄せられ、志高を校是として残り、次の100年に向けて志を高く持ち、何事にも果敢にチャレンジしていく決意を表しています。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、大正13(1924)年に町立志津川実科高等女学校として創立し、戦時中の志津川高等女学校を経て、戦後の学制改革で県立男女共学の宮城県志津川高等学校となりました。平成8(1996)年に学科改編を行い、商業科を情報ビジネス科に改編し、普通科も類型選択制を取り入れました。平成15(2003)年から、本校と南三陸町内の中学校との県内初の地域連携型中高一貫教育がスタートしました。「南三陸町地域連携型中高一貫教育」では、中学校・高等学校の6年間の中で、系統的・総合的に教育を行うことにより、地域・社会で生きて働く、「知識・技能(技術)」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を培い、「地域を愛し、未来を見据え、地域社会を切り拓く生徒」の育成を目指しています。平成29(2017)年から、公営塾である「志翔学舎」が本校内に設立され、本校の生徒であれば誰でも無料で利用することができ生徒の進路達成に向けてサポートが充実しています。

令和5(2023)年から県内初の全国募集選抜が行われ、今年、南三陸 kizuna 留学1期生が卒業しました。初年度から昨年度までに24名が入学し、今年度も9名の生徒が入学しました。

本校は、宮城県の北東部に位置した南三陸町にあり、町内の山や海といった自然環境の中で地域と密着した教育活動を行っており、勉強や部活動に取り組む環境が整っています。本校の施設としては、令和4(2022)年に第一体育館の改築が行われ、令和5(2023)年に人工芝のテニスコートが完成しました。他にも第二体育館、弓道場、グラウンド、2つのコンピュータ教室など充実した設備があります。

(2) 教育方針

知性を磨き真理を探究し、自他を敬愛できる寛容と協和の心を持った、誠実で愛情豊かな人財の育成をめざし、次の目標の達成に努めています。

- ① 中学校における教育の成果を更に発展拡充し、国際社会の有為な形成者として必要資質を養う。
- ② 社会において果たさなければならない使命を自覚し、個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養う。
- ③ 社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち、豊かな感性と思いやりの心を持った、情操豊かな人格の形成に努める。

(3) 教育課程の特色

本校では、生徒一人ひとりの進路希望達成を目指し、進路に応じたカリキュラムを設定しています。

普通科

1年生は、全員共通科目を学び、2年生よりそれぞれの進路に応じて「地域創造系」「文理系」に分かれて学びます。

【地域創造系】

「地域で学ぶ地域学」をテーマに南三陸町の資源である山や海などをフィールドとし、学校設定科目「地域学」「地域探学」で町内の事業所と連携した学びに取り組んでいます。柔軟な発想を持ち、これまでにないアイデアなどを考え、実際に試してみるといった活動をしています。

目指す進路：大学(地域、行政、観光)、専門学校、公務員、民間企業など

【文理系】

国公立大学、私立大学の一般選抜(共通テスト利用含む)受験に対応したカリキュラムで現役合格を目指します。科目選択により、文系・理系それぞれ目指す進路に合わせた学習が可能です。小規模校のメリットである少人数指導ができることを生かし、生徒一人ひとりの個性に合わせた指導が可能です。

目指す進路：国公立大学、私立大学、専門学校(看護系)、公務員など

情報ビジネス科

情ビ科は、一言で言うと「資格と特技、趣味欄が書ききれなくなる学科」です。商業の専門学科ですが、皆さんがイメージする商業科とはだいぶ違うと思います。簿記や情報処理などといった学習に加え、Linux や空撮ドローン、水中ドローン、パーチャルリアリティなどの最新鋭の機器や技術を学ぶことができます。令和6年から文部科学省のDXハイスクールに採択され、より充実した教育環境

となっています。

目指す進路：大学(情報、経済、経営、商学)、専門学校、公務員、民間企業、など

(4) 行事・生徒会活動・部活動

本校の数ある行事の中でも、初代校長である尾形先生の名に因んだ「尾形杯」というペナントレースのようなイベントがあり、合唱コンクール、旭ヶ浦祭、体育祭の総合得点で優勝学年が決まります。

生徒会活動は、連携する町内の中学校との部活動交流や防災クラブの生徒が中学校に赴いて防災訓練のサポートを行い、交流他校との交流や台湾の学校との交流が盛んに行われ、今年度も本校での対面交流が行われています。また、募金活動といった奉仕活動も行っています。

部活動は、運動部・文化部ともに多彩な部があり、陸上競技部は、毎年東北大会に出場し、令和に入ってからも3人がインターハイに出場しています。自然科学部も、環境甲子園奨励賞や高校生海洋環境保全研究発表会優秀賞、他にも多数の大会で表彰されています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
大学	12	10	11
短期大学	5	4	0
専各学校	19	17	6
就職(県内)	14	14	24
就職(県外)	1	2	4
その他	1	0	0
卒業生計	52	47	45

主な進路先(令和8年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<公立・私立大学>

宮城大学、東北学院大学(2)、東北工業大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学(2)、尚絅学院大学、東北文教大学、立教大学、東京国際大学、城西国際大学

<専修各種学校>

仙台徳州看護専門学校、花壇自動車大学校(3)、仙台ヘアメイク専門学校(3)、宮城調理製菓専門学校(2)、仙台医療・スポーツ専門学校(2)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(2)、等

<就職>

南三陸町職員、特別養護老人ホームいこいの海・あらと(2)、旭洋設備工業(株)、(株)カネキ吉田商店、(株)エムズ、(株)マルニ、(株)登米村田製作所(2)、トヨテツ東北(株)(2)、日本郵便(株)東北支社、(株)エー・アール・シー、等

3 学校魅力発信

(1) 活躍する卒業生

令和2年度卒 日野 汐音さん (石巻赤十字病院 看護師)



高校時代を振り返ると、様々なことに挑戦し、沢山勉強したなと思います。私は自宅から近く、放課後に勉強できる志翔学舎があることを理由に進学を決めました。学生時代は日々の振り返りや定期テスト対策で、毎日のように志翔学舎に通って、遅くまで勉強や、学年問わずできた友人と会話をしたこと、放課後フラッとくる先生方も何気ない会話をしたことを思い出します。各種検定・受験対策での勉強方法や人間関係について相談したり、日々の何気ない話も

親身に聞いてもらったりしました。今思えば、自分のことを気にかけてくれる人がいて、時には叱ってくれる人がいる、学校という場で、先生以外の大人と繋がることのできる本当に恵まれた環境でした。

現在は、0～100歳代まで様々な年齢・疾患の方がいる病棟で看護師として働いています。日々「その人らしさ」を大切にできるよう、何気ない会話を意識していますが、高校時代に多くの人と会話し、様々な経験をしたことが私の看護師としての軸になっていると考えています。3年目で、まだまだ未熟な所もありますが、先輩方にフォローしていただきながら学びを深める日々です。辛いことも多いですが、患者さんからの何気ない「ありがとう」の一言で救われ、頑張ってたかったなと感じます。憧れの先輩方に近づけるよう、1つずつですが心電図の判読や小児科疾患を学び、臨床と知識を結びつけられるよう奮闘中です。

南三陸高校では、国内外との交流や地域とのつながりを大切に、様々なコミュニティと関わりながら学ぶことができます。生徒数は多くはありませんが、だからこそ先生方や志翔学舎のスタッフの方々が、一人ひとりに親身に寄り添って、進路や勉強だけではなく、日々の些細なことも気軽に相談でき、自身のペースで挑戦ができる場所だと思います。

南三陸高校だからできる挑戦や経験を積み「自分らしさ」を発見してみませんか？

みなさんが素敵な高校生活を過ごせるよう、応援しています！

令和6年度卒 阿部 有季久さん (株式会社イー・アール・シー システムエンジニア)



高校時代は3年間、検定試験の勉強に励んでいました。検定は、努力した分だけ力がつき、合格の文字を見るたびに自分の成長を実感できました。合格するたびに周りの人が褒めてくれたり、普段あまり感情を出さない担任の先生も嬉しそうにしてくれている気がして、もっと頑張ろうと思えました。

現在は東京でネットワークエンジニアをしています！内容を説明するのは少し難しいですが、インターネットや社内の通信が問題なく使えるように、ネットワークの設定やトラブル対応などを行っています。理系が好きな人は、ITの沼にはまると思います。

今私は、将来の目標が2つあります。

1つは、青春の続きをいつかすることです。私には、資格取得に向けて努力しているとき、常にそばで支えてくれる先生がいました。合格までの過程は地味で辛く、影で涙を流すこともありましたが、でも、先生と共に歩んだ苦労は、今思えば私の青春だったと思います。また、あの頃のように、2人で前に進んでいきたいです。

もう1つは、家族の夢を叶えることです。

私が今生きているのは、家族がいたからこそだと思っています。どんな時でも家族はそばにいてくれました。どんなに辛い現実と直面しても、助けてくれたのは家族でした。だからこそ、これからは自分が努力して、家族の夢を叶えられるような存在になりたいと思っています。

南三陸高校は、自分の挑戦したいことに挑戦できる場所です！

生徒数は少し少ないですが、その分先生が一人ひとりに寄り添い、背中を押してくれます。

そんな「みな高」で、後悔のない高校生活を送りましょう！

(2) 部活動紹介

※ 部活動の統廃合により次年度以降、変更になる場合があります。

運動部

弓道部、剣道部、硬式野球部、女子ソフトテニス部、女子バレーボール部、卓球部、柔道部、男子サッカー部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部

文化部・愛好会等

自然科学部、商業部、総合文化部(手芸班・美術班)、音楽部、軽音楽部、郷土芸能愛好会、防災クラブ、エコシステムクラブ

(3) 学校制服紹介



令和5(2023)年度入学より制服のマイナーチェンジが行われました。デザインは紺色のブレザーに、スクールカラーでもあるブルーをシャツとネクタイに取り入れ、2つボタンを採用しました。

夏服は男女ともワイシャツとポロシャツを選んで着用できます。また、女子はネクタイカリボン及びスカートかスラックスを選んで着用できます。

(4) 施設紹介

P C室 (情報ビジネス科)



情報処理室 (普通科)



第一体育館



テニスコート (人工芝)



4 生徒会長からのメッセージ



南三陸高校は、一人ひとりの「やりたい」を形にできる場所です。

本校の最大の魅力は、先生方や地域の方々との距離の近さです。進路や学習の相談はもちろん、地域課題の解決に向けた探究活動や、地元企業と連携した商品開発など、教室の中だけでは終わらない「本物の学び」を経験できます。また、公営塾「志翔学舎」の活用など、一人ひとりの目標達成に向けたサポート体制も非常に充実しています。

さらに、台湾の姉妹校との交流など、グローバルな視野を広げる機会も豊富です。少人数だからこそ、仲間との絆も深く、互いの個性を認め合いながら切磋琢磨できる最高の環境が整っています。

行事や部活動、日々の学習をとおして、仲間と共に支え合い、成長していけるのが南三陸高校の良さです。皆さんもこの環境の中で、自分だけの物語を描いてみませんか？

皆さんと一緒に、新しい挑戦ができることを楽しみにしています！